

# エクスプローラー使用警告

## 米政府PCデータ消える恐れ

【ワシントン共同】米国土安全保障省は28日、ハッカー「ローラー」を使わないよう警告、代替ソフトの使用を呼び掛けた。

ソフト社の閲覧ソフト「インターネット・エクスプローラー」を  
「代替ソフトの使用を呼び掛けた。」  
「米当局によると、バ

ヨンが「6」から「11」までのインターネット・エクスプローラーが攻撃を受けた場合、大きな危険につながる恐れがあるという。大半の日本のユーザーが使用しているインターネット・エクスプローラーが該当する。

マイクロソフトは26日、同ソフトのシステムの脆弱性を狙った攻撃を受けていることを確認したと発表。利用者を特定のサイトに誘導したり、勝手にデータが削除されたりする恐れがあるという。

同社は安全上の欠陥が見つかった際に修正するソフト「セキュリティ更新プログラム」をまだ配布していないが、利用者にファイ

アウォール（安全隔壁）の設定を有効にし、配布後には更新プログラムを適用するよう推奨している。

ロイター通信によると、米情報セキュリティ会社ファイア・アイは「米国を拠点とする防衛、金融関係の企業が狙われているもようだ」と分析。攻撃の狙いは不明だとしている。

日本の独立行政法人「情報処理推進機構」もホームページで同ソフトの問題に触れ、早急に回避策を実施するようユーザーに呼び掛けた。